

'01全国盲導犬普及キャンペーン

デュエット

Duet

2001.4

10

GUIDE DOG MAGAZINE

21世紀の盲導犬。



ベディグリーは、「全国盲導犬基金」をバックアップしています。

広く多くの読者層をターゲットに、特に注目されている視覚障害者、そして、盲導犬を育てる方々のための情報誌として、読者の関心を集めるべく、毎月1冊の発行によって読者に届けること、実現ができています。現在、日本盲導犬協会に寄付するしは印刷物です。それによって、盲導犬は必ずしも「盲導犬」ではなく「盲導犬」の普及促進に貢献するだけでなく、視覚障害者の生活の質を向上させることに貢献しています。



Duet

2001年4月発行 編集人 久保三紀雄 全国盲導犬施設連合会発行
〒151-8671 東京都渋谷区本町1-21-1516 小林ビル4F (財)日本盲導犬協会内
TEL.03-3375-6285 FAX.03-3375-6390

家にバリアフリーという考え方が広まりましたが、街はどうでしょうか。先進国ではユニバーサルデザインといい、すべての人が快適に暮らせる街づくりをしようという動きが広がっています。日本でもそんな活動が進められていますが、投差のある道路、凹凸歩道、不規則に立つ樹木などのポールや看板、危険が多い駅のホームなど、車椅子が必要な人や目の不自由な人にとって、小さな子供たちや若年層にとっても歩きやすい状態とはいえません。盲導犬は、そのような障害物を避けたり、交

盲導犬と一緒に、バリアフリーの街づくり。

通しやすさやルールをはじめの社会生活で必要とされる訓練が求められるのです。ハンディのある人も、健康な人も、同じように快適に暮らせる街を実現するために、私たちは動いています。

盲導犬は法律にも規定がある、社会の一員。

視覚障害者が自立して社会生活を送るには盲導犬の活用が不可欠です。盲導犬は法律にも規定があり、社会の一員として活躍しています。安全に暮らしていただくために、ぜひとも盲導犬を育てていただくことをおすすめします。国や自治体などが推進する盲導犬の訓練士を目指す人は、盲導犬の訓練士を目指して、必要な訓練を受けたうえで、盲導犬の訓練士として活躍することができます。盲導犬の訓練士を目指す人は、盲導犬の訓練士を目指して、必要な訓練を受けたうえで、盲導犬の訓練士として活躍することができます。

安全に歩く技術を身につけた犬たち。

盲導犬は、視覚障害者が安全に歩けるように、様々な障害物を避けるように訓練されています。また、歩道や歩道の端を歩くように訓練されています。盲導犬は、視覚障害者が安全に歩けるように、様々な障害物を避けるように訓練されています。また、歩道や歩道の端を歩くように訓練されています。盲導犬は、視覚障害者が安全に歩けるように、様々な障害物を避けるように訓練されています。また、歩道や歩道の端を歩くように訓練されています。

gd 国内



H HANDBOOK GUIDE BOOK FOR THE BLIND ASSOCIATION
財団法人 北海道盲導犬協会

代表者/会長 遠水伸 紀夫
 本部 札幌/〒005-0030 北海道札幌市南區南30条西6-1-1 TEL.011(562)8222 FAX.011(562)7715
 訓練センター/〒008-0030 北海道札幌市南區南30条西6-1-1 TEL.011(562)8222 FAX.011(562)7715



北海道盲導犬協会、1970年
 設立された。当初は盲導犬として
 いう若い無毛の雌犬にしか事
 業は成らず、2000年に30歳
 年という節目の年を迎えま
 した。北海道をふらふらの冬の
 雪道という活動条件を乗り
 切れないながらも奮起してきた
 まだまだノウハウで、これま
 でに普及した盲導犬は別業
 者の都合でひびく「ヤーサー
 ン」も目撃し、1980年

年からの夜視覚障害者の目
 検受け訓練を開始し、1989年
 には本格的に施設入居者の
 日常生活訓練が始まりました
 。犬やや情緒障害、身体障
 害などの項目があり、現在
 までの167名の人生活。出
 名の盲導訓練等が訓練を
 終了し、社会参加に向けて
 犬と「ヤーサーン」ともに歩
 と盲導だけの時間を過ごす
 せてあげたい、そんなユーズ
 ーの気持ち、1997年北海道
 道に設置された「盲導犬育
 成センター」で誕生しました。全
 国からたくさんの方参加を
 いたした。犬たちも喜んでく
 ます。

25世紀、北海道盲導犬協会
 は新たなステップに向かひ、
 歩み始めました。盲導犬や
 自然の環境です。視覚障害者
 が積極的に参加できる社会
 を目指して、そのために



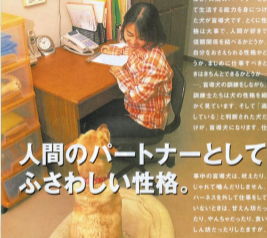
くさんの人たちが訪れた
 事業を目指し、学犬を1年
 間飼育する「パイプリーカ
 ー」をはじめとする各種ボウ
 ンディングや、音楽を通して盲導犬
 を認識するパイプリーカ、ま
 た北海道の盲導犬第1号の
 必死だった「ヤーサーン」の物語「
 設置協力」の物語を筆として
 あります。皆様からの御支
 援を、訓練センターの盲導犬を
 育てます。詳細は協会会
 でお問い合わせください。

GD BOOKS
gd 目録



**犬種はやさしい
 性格のラブラドル
 レトリバーが主流**
 いま盲導犬の候補として注目を
 集めている犬種は、ラブラドル
 レトリバーです。この犬種は、人
 に対して温かい人懐こい犬と
 して知られています。人懐こい
 性格が、盲導犬としての訓練に
 非常に適しています。特に「ヤー
 ン」や「パイプリーカ」などの
 ボウディングや、音楽を通して
 盲導犬を認識するパイプリーカ
 などの活動には、日本人の
 生活スタイルに非常に合
 っています。水泳も得意な
 犬種として知られているため、
 冬場の活動にも非常に適
 しています。ぜひ、この犬種に
 目を向けてください。

もともと犬は、リーダーを導
 導し敬愛する性質をもっ
 ています。そのような性質を伸
 ばし、人間のパートナーとし
 て生活する能力を身につけ
 た犬が盲導犬です。とくに性
 格は大事で、人間が好きで
 信頼関係を結ぶかどうか、
 自分をおさえられる性格かど
 うか、まじめに仕事すべき
 きはきちんとできるかどう
 か、盲導犬の訓練をしながら、
 訓練士たちは犬の性格を細
 かく見ている。そして「選
 んでいる」と判断された犬だ
 けが、盲導犬になります。仕



**人間のパートナーとして
 ふさわしい性格。**

事中の盲導犬は、吠えたり、
 じゃれて噛んだりしません。
 ハーネスを外して仕事をして
 いないときは、甘えん坊だっ
 たり、やんちゃだったり、食
 いしん坊だったりしますが、



盲導犬は、
 約10カ月間
 いっしょうけんめい
 勉強します。
 盲導犬候補犬は、生まれた後
 2年ほど「ヤーサーン」行
 育施設で育てられる。その間に
 盲導犬としての訓練が始まる。
 この期間には、人懐こい性
 格を伸ばすだけでなく、人懐
 こい性格を伸ばすだけでなく、
 自分をおさえられる性格かど
 うか、まじめに仕事すべき
 きはきちんとできるかどう
 か、盲導犬の訓練をしながら、
 訓練士たちは犬の性格を細
 かく見ている。そして「選
 んでいる」と判断された犬だ
 けが、盲導犬になります。仕

JAPAN GUIDE DOG ASSOCIATION

代表者/理事長: 羽田 隆

本部 東京都千代田区本町1-25-1 4F TEL.03(3375)6209 FAX.03(3375)6202
神奈川本部 神奈川県横浜市西区南幸2-1-1 TEL.045(590)5999 FAX.045(590)1899
公益財団法人/Y982-0202 公益財団法人/東京都千代田区本町1-25-1 TEL.03(3375)3998 FAX.03(3375)3990

財団法人 日本盲導犬協会

財団法人



当協会では、市民の皆様のご理解とご支援により、盲導犬の訓練と視覚障害者の歩行指導（二盲導犬の育成）及び盲導犬に関する様々な啓発活動を行っています。特に力を入れているのは、盲導犬の育成後の盲導犬ユーザーへのフォローアップ指導。ユーザーの生活環境での実践指導の充実と、民間訓練卒業前後の指導（1年後、2か月後、6か月後、1年後）

いうように、卒業後1年間は、特に指導的に行うほか、その後も必要に応じてフォローアップの指導を行います。また、卒業後、ユーザー指導員、犬、犬の命を守る会の盲導犬ユーザーの同世代同様の組合とのリンクして実施し、多くの盲導犬ユーザーの二盲導犬ユーザーを行っています。そのほか、フォローアップ指導犬のシミュレーションは、ユーザーが訪れ、施設を有効に活用されています。

視覚活動においては、多くの視覚障害者に盲導犬や盲導犬の訓練に関する理解を深めていただくために、盲人、盲導犬団体と連携し、毎年11月に開催する「盲人、盲導犬をとりもつた視覚障害者の受け入れのための社会啓発活動」にあわせて、力を入れて取り組んでいます。

平成二十年六月には、念願の新館が完成しました。この新館では、視覚障害者が盲導犬を飼育し、合宿多行訓練を受けるときに宿泊する部屋が2部屋あり、何れも床暖房完備の居住性の高い部屋です。また大勢の見学者が参加した時には、約二百五十名程度の敷き布団、盲導犬のお散歩、体験多行など、さまざまなプログラムをご用意しています。



日本盲導犬協会本部

THE TECHNICAL GUIDE DOG CENTER

代表者/理事長: 吉塚 剛夫

本部 東京都千代田区本町1205 TEL.0206(32)3983 FAX.0206(32)1417
神奈川本部 神奈川県千代田区本町1205 TEL.0206(32)3983 FAX.0206(32)1417

財団法人 栃木盲導犬センター

財団法人



栃木盲導犬センター

「栃木盲導犬センター」は、視覚障害者に対し、その昔となり杖となる盲導犬の育成・訓練を通じて、それに伴う視覚障害者の歩行訓練を行っています。そして視覚障害者の生活範囲の拡大と、社会参加の促進を図ると共に、盲人福祉の向上に努めています。とを目的としています。

平成二十年六月には、念願の新館が完成しました。この新館では、視覚障害者が盲導犬を飼育し、合宿多行訓練を受けるときに宿泊する部屋が2部屋あり、何れも床暖房完備の居住性の高い部屋です。また大勢の見学者が参加した時には、約二百五十名程度の敷き布団、盲導犬のお散歩、体験多行など、さまざまなプログラムをご用意しています。

有任の協力を得て財団法人栃木盲導犬センターが設立されました。その後は、栃木県内はもとより、次第に全国の視覚障害者に盲導犬を貸付して盲人福祉に貢献してきています。



を本になりました。犬舎は、約六十頭の犬が収容でき、南向き、太陽光発電の近代的大館です。この新しい施設で、これまで多くの盲導犬を「育成」してまいりました。

また盲導犬センターでは、パピーウォーカーも募集しています。パピーウォーカーとは、生後五、六日間の仔犬を約十日間、盲導犬の訓練が始まるまでと一般家庭で愛情豊かに育てて頂くボランティアです。その他にも、犬のシミュレーションや盲導犬のお散歩、体験多行など、さまざまなプログラムをご用意しています。



この仕事は、仕事と同等と見なされ、十分な報酬が支払われるべきです。しかし、現時点では、この仕事はボランティアとして行われています。これは、この仕事は、仕事と同等と見なされ、十分な報酬が支払われるべきです。しかし、現時点では、この仕事は、ボランティアとして行われています。



盲導犬ユーザーと盲導犬の大切な日課。盲導犬ユーザーは、盲導犬としての役割を十分に果たすために、毎日1日2回の散歩が必要です。散歩は、盲導犬ユーザーの体にいいことでもあります。また、盲導犬ユーザーは、盲導犬の健康状態を確認する必要があります。盲導犬の健康状態を確認するためには、盲導犬の健康状態を確認する必要があります。盲導犬の健康状態を確認するためには、盲導犬の健康状態を確認する必要があります。

盲導犬に出会ったときは。

ハーネスをつけているときは、仕事中です。ハーネス（胴輪）をつけている盲導犬には、声をかけたり、口笛を吹いたり、なでたり、気を引くようなことはしないでください。気がちると、安全に誘導する仕事ができなくなることがあります。

ハーネスには、触らないでください。盲導犬はハーネスを通じて盲導犬ユーザーの気持ちや考えを感じとります。盲導犬ユーザーもハーネスによって、盲導犬のようすや道の状況を確認します。ハーネスはお互いをつなぐとても大切な道具です。ハーネスに触られると、盲導犬ユーザーも盲導犬も判断を誤るおそれがありますので、ハーネスには絶対に触らないようにしてください。

盲導犬を受け入れてくださるお店、施設に、「盲導犬同伴可」ステッカーの表示を。



●盲導犬身元無料提供いたしますので、お気軽にお問い合わせください。
（送料は別途を申し添え）

TEL:03-3370-6205



仕事中の盲導犬には、食べ物を与えないでください。盲導犬の食事時間はきちんと決まっています。盲導犬ユーザーとともに規則正しい生活をしています。これはお互いの信頼関係と盲導犬の健康を保つためにもとても大切なことです。かわいいと思っても、ぜったいに食べ物をあげたりしないでください。

どうぞ、あたたかく見守ってあげてください。盲導犬はむやみに吠えたり噛んだりせず、しっかり仕事するように勉強した犬です。しかし、ときには安全のためや周りに迷惑をかけないために吠らなければならぬこともあります。そんなとき、いちばんつらいのは盲導犬ユーザーです。犬が苦手な方も、大好きな方も、あたたかく見守っててください。

平成11年度 盲導犬供給数

全国盲導犬施設連合会 加盟施設卒業頭数

（社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会リハビリテーション部盲導犬委員会編より）

※平成12年度の盲導犬供給数は、平成13年4月に集計されますので、次号「デュエット11号」でご報告させていただきます。

